

堺旧港 (さかいきゅうこう)



写真提供：社団法人堺観光コンベンション協会



写真出典：平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P35 堺市教育委員会

堺は、中世に世界各国との交易がたくさん行われ、国際貿易都市(こくさいぼうえきとし)として、人・物・情報が交流し、巨大な財力(ざいりよく)と高い市民文化(しみんぶんか)により「自由自治都市(じゆうじちとし)」として栄えました。

堺港は、江戸時代の大和川の付け替えによる大量の土砂(どしゃ)の堆積(たいせき)などによって、港の機能が衰退(すいたい)したけれど、江戸の商人吉川俵右衛門(よしかわひょうえもん)などの働きによって、現在も残る堺旧港の原型(げんけい)が造りあげられました。

Q. 昔はどんなところだったの？

A. 大浜公園は明治 21 年[1888 年]に開設され、明治 36 年[1903 年]に水族館が建設されたんだ。また、明治 45 年[1912 年]には大浜公会堂(おおはまこうかいどう)が開設され、大正 2 年[1913 年]には劇場(げきじょう)や遊技場(ゆうぎじょう)も完備(かんび)した大浜潮湯(おおはましおゆ)

ができ、大正8年には、学生相撲大会(がくせいすもうたいかい)がもよおされ、大浜がその発祥の地となったんだ。ここには料亭や旅館も数多く立地し、大変なにぎわいだったんだよ。また、大浜公園一帯の海岸線は砂浜で、海水浴、潮干狩り(しおひがり)など多くの人々に利用され、大魚夜市(おおうおよいち)も大浜公園で行われるなど、一帯は不夜城(ふやじょう)となっていたんだ。

Q. 今はどんなところ？

A. 堺駅前、都心の西の玄関口としての新しい都市機能[オフィスビル、シティホテル、ショッピングプラザなど]が形成されているよ。

中世の環濠都市(かんごうとし)の名残(なごり)をとどめる内川を、石畳(いしだたみ)やモニュメントを配して中世・堺のイメージを復元(ふくげん)したプロムナードや樹木(じゅもく)を植えた緑あふれる散策路(さんさくろ)など、都心にうるおいをもたらす水と緑の快適空間(かいてきくうかん)が形成されているよ。

大浜公園は総合公園として、体育館、野球場、テニスコート、相撲場、プールなどのスポーツ施設があり、広く市民に利用されているよ。さらに、旧堺燈台(きゅうさかいとうだい)周辺は、緑地になっているよ。

また、東洋一を誇った(ほこった)堺水族館(さかいすいぞくかん)のシンボルだった乙姫像(おとひめぞう)が復元されたんだ。旧堺港北湾戸(きゅうさかいこうきたわんど)から港内に突き出た北波止突堤(きたはととつてい)の付け根に高さ16mの石張りの台座上(だいざじょう)に10mのブロンズ製の乙姫像が立ち上がっているよ。

Q. 明治時代の様子が分かる資料ってあるのかなあ？

A. 絵地図があるよ。



文久3年堺大絵図

平成28年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P34 堺市教育委員会

出典：堺市ホームページ[2012/8/15 現在]

http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_rinsei/kyukou.html

平成28年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P34-35 堺市教育委員会